

看護技術研修（基礎Ⅰ・基礎Ⅱ）

～信頼される安全な看護を目指す～

4月14日(金)～20日(月)のうち4日間と5月11日(木)・12日(金)に、新卒者76名が看護技術研修(基礎Ⅰ・基礎Ⅱ)を受講しました。事例をもとに研修者が患者役・看護師役を体験しながら看護技術の演習を行いました。基礎教育での学びを振り返ることで、自分の課題が明確になり、患者の安全・安楽を守るために正しい知識と技術の習得が重要であることを実感していました。また、各部署の教育担当者から指導を受け、実際に使用している物品で演習を行うことで、部署の特徴を知り実践に向けた準備を整えることができました。



**末梢点滴
静脈注射**
薬剤の混注から滴下調整まで一連の看護技術の流れを実施しました。



静脈血採血
腕モデルを使用して知識と技術の振り返りを行った後、研修者同士で採血を行いました。

**経口・直腸
与薬**
患者氏名・薬剤名・与薬量・与薬時間・与薬方法を患者とともに確認してから与薬します。



筋肉注射
研修者同士で相談しながら筋肉注射の部位を確認しています。



皮下注射
安全な注射部位の選択や刺入時の留意点を確認しながら腕モデルへの注射を行いました。



口鼻腔吸引
模擬痰の入った吸引モデルを使用します。患者の苦痛を最小限とする正しい手技を演習しました。

**インスリン療法
における看護**
動画を視聴してインスリン療法に関する知識やペン型インスリンの注射手技を学んだ後、演習を行いました。



酸素療法
中央配管や酸素ボンベの使用方法を学びました。酸素療法中の観察点や看護ケアへの気付きもありました。





浣腸

浣腸モデルを使用して一連の技術を行いました。患者の羞恥心への配慮や患者状態の確認の大切さを学びました。



輸液ポンプ

輸液の投与を開始する前には必ずキョクイファイナルチェックで安全を確認します。

車椅子

患者の身体状況や付属物に注意しながら安全に車椅子への移乗・移送を行う方法を考えて演習を行いました。



シリンジポンプ

シリンジが浮き上がらないようにしっかり固定されていることを確認します。



食事介助

とろみをつけた麦茶を使用して、研修者同士で食事介助を体験しました。



口腔ケア

嚥下障害がありうがいができない患者を想定し、吸引しながら行う口腔ケアを演習しました。



膀胱留置

カテーテル清潔操作に留意しながら男性・女性の膀胱留置カテーテル挿入を行いました。



ストレッチャー

研修者自ら患者役を体験することで、患者の恐怖心や不安に気づき、丁寧な声掛けの大切さを実感していました。



教育担当者からの声

研修者が質問しやすい雰囲気の中で、1つ1つ知識や技術を確認できて良かった。

研修者同士や指導者とのコミュニケーションを図る良い機会となった。

演習後に復習シートで振り返りを行うことで、研修者は学びを深めることができた。

研修を通して研修者の理解度を確認できたので、部署での教育につなげていきたい。

4月の研修時には緊張した面持ちが見られましたが、5月の研修時には和やかな表情で、研修者同士で話し合い、相談しながら演習に取り組んでいました。入職後1か月が経過し、覚えることがたくさんあって不安や焦りもあるようですが、同期同士の交流を深めながら一步一步進んでいる印象を受けました。

新人教育に関して、何かご意見やご要望などありましたらお気軽にご連絡ください。

看護職キャリア支援 教育担当